



道路整備に関する意見書

本町の広域幹線道路は、南北を縦断する一般国道 127 号と、それにほぼ並行している富津館山道路の 2 路線があります。一般国道 127 号は地域の中核都市である木更津市、富津市と館山市を結ぶ社会的、経済的役割を担っており、自動車交通の依存度が高く地域発展に果たす役割は重要であることから、優先的に整備されるべきである。

しかしながら、国道 127 号は、半島性の地形から構造物が接近して建ち並び、道路整備は、いまだ十分であるとはいえず、道路は狭隘で屈曲部が多く、歩道の設置も少ないことから歩行者の安全確保もされていない区間も多くあり、交差点では右折車線がないことにより、観光シーズンでは慢性的な渋滞原因となり交通状況にあたる影響は極めて大きい。

また、鋸南町と富津市の市町境を通過している明鐘隧道、潮噴隧道、元名第一隧道、元名第二隧道の 2km 区間にかけては、連続降雨量 200 mm を超えると地形的状況により通行の安全確保のため、通行止めとなることや、狭小で大型バス等のすれ違いにも大変支障を来していることから、隧道拡幅改良、災害防止等の抜本的な道路整備を早急におこなう必要がある。

さらには、今夏、全線開通される館山自動車道からアクアラインとアクセスすることにより、新たな産業立地や定住人口の増加、地場産業の活性化などが期待される重要な道路整備となる。

よって、道路整備の重要性を深く認識し次の事項について特段の配慮がなされるよう強く要望する。

記

- 1 国道 127 号の狭隘な道路・隧道部分及び道路環境の早期改良の促進をはかり、地域の期待する道路整備を効果的かつ効率的に推進すること。
- 2 地震・台風・豪雨水害等の自然災害から、地域の安全・安心を確保するため、社会経済活動の基盤となる道路整備の取り組みを一層強化すること。
- 3 アクアライン、富津館山道路の有料道路料金体系引下げにより、利用の増大を図ると同時に、観光シーズンにおける一般国道の慢性的な渋滞の解消をはかること。
- 4 歩行者の安全な通行を確保するとともに、地域住民の生活環境向上を推進するため、国道 127 号の歩道未整備区間の解消をはかる整備を早急に実現すること。
- 5 保田地域における国道 127 号の渋滞解消と地域の活性化を推進するため、国道 127 号元名地先から主要地方道鴨川保田線及び富津館山道路保田インターにアクセスするバイパスについて早急に検討を行い、早期に事業化を図ること。
- 6 国道 127 号は東京湾に面し景観の美しい海岸と並行しており、富士見百景の選定を受ける他、夕日の美しい地域であることから、地の利を生かした自転車専用道路

の建設及び道路環境美化により、地域観光の発展を促進する道路の整備を図ること。
また、国道 127 号の愛称募集により更に魅力を高め一層の観光推進を図ること。

平成 19 年 5 月 8 日

千葉県安房郡鋸南町長 白石 治



国土交通省道路局長 様

鋸南町

阿比川

隧道改良区間2km

国道127号保田バイパス

歩道未整備区間

道路線形改良

主要地方道鴨川保田線

富津館山道路

第一級河川一級河川

一般県道外野勝山線

交差点改良

歩道未整備区間

至館山

1:25,000

凡	

